

I. 創世記から啓示録までの聖書全体は、神のエコノミーについての完全な絵を提示しており、神のエコノミーを遂行するための地上での神の行動についての完全な絵を提示しています:
エペソ 1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとしたのです。
3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、

A. エゼキエル書において、神のエコノミーと神のエコノミーにおける神の行動は、車輪によって表徴されています:エゼキエル 1:15 また、私が生き物を見つめていると、見よ、生き物のそば、地の上に、**四つの顔それぞれに対して一つの車輪があった。**

1. この大きな車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴します。輪縁は、キリストの配偶者、すなわち召会を表徴し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。
2. 車軸から輪縁に広がる車輪のスポークは、キリストの肢体としての多くの信者たちを表徴します。

B. 生き物のそばに、車輪が地上で出現することは、神の地上での行動が四つの生き物の組み合わせに従うことを示します。

C. 車輪の行動は、目的のある特別な行動を暗示しています。

D. さらに、車輪の行動は、この行動が私たち自身の力によるのではないことを暗示しています。

E. 車輪が生き物の四つの顔それぞれに対してあることが示しているのは、もし私たちが主の行動を持ちたいなら、まず主を生かし出し、彼を表現しなければならないということです。

ピリピ 1:20 そこで、わたしの切なる期待と希望は、わたしがどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、わたしの体において大きく表現されることです。

II. あらゆる生き物のそばには、高くて畏るべき車輪があります:

エゼキエル 1:16 車輪の外観とその構造は、緑柱石の様ようであった。その四つのものは一つの姿をしていた。すなわち、その外観と構造は、車輪の中に車輪があるようであった。
17 彼らはどこへ行っても、四つの方向に行き、行くときには曲がらなかった。
18 その輪縁は、高くて畏るべきものであり、その四つのものの輪縁は、周り全体が目で満ちていた。

A. 車輪の行動は、私たちの強さ、力、供給としての主による彼の永遠の定められた御旨のための主の特別な、並外れた行動です。

B. 私たちの神は生きており、私たちの主は行動しており、その霊は働いており、彼の永遠のエコノミーを完成しつつあります。

C. 神の行動は、人の中の神のエコノミーの行動であり、人を神化し、一人の新しい人生を生ま出します。それは、神がキリストにあって、彼の団体的な表現また行政を持つためです。

D. あらゆる地方召会と一人一人の信者は、彼らに従う高くて畏るべき車輪を持つべきです:
使徒 13:1 さて、アンテオケの地に在る召会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロ **2** 彼らが主に仕え、断食していた時、聖霊が言われた、「さあ、バルナバとサウロを私のために選び分け、私が彼らを召した働きに当たらせなさい。」

1. 私たちは、主の行動にあずかるために、主との個人的で、愛情深く、ひそかで、霊的な関係を持たなければなりません。雅歌 1:4 私を引き寄せてください。私たちはあなたの後を走ります。王は私を彼の奥の間に連れて行かれた。「私たちはあなたの中で喜び楽しみ、ぶどう酒にまさってあなたの愛をほめたたえます。彼女たちは一心にあなたを愛します。マルコ 12:30 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主であるあなたの神を愛しなさい。

a. 私たちは、小羊の行く所へはどこへでも従って行き、私たちの霊に注意を払うことによって、そしてキリストをかしらまたからだとして尊ぶことによって、祭壇と天幕の生活を生きる必要があります。

b. 私たちは、快く与える者たちとなって、真理の中の同労者となる必要があります。

2. 私たちは、主の行動にあずかるために、主が出て行くことの中で出て行き、彼がささげることの中でささげ、彼が祈ることの中で祈ることができます:
 c. 私たちは、使徒行伝において見られるように、祈りを通して主と協力して、彼の行動を遂行し、活動する神と共に活動して、神のエコノミーを完成する必要があります:

(1) 私たちが必要とする祈りは、その霊の注ぎ出しをもたらす祈りです。使徒 1:14 これらの人はみな、婦人たち、イエスの母マリア、イエスの兄弟たちと共に、一つ思いでひたすら祈り続けていた。**2:4** すると、彼らはみな聖霊で満たされ、その霊が彼らに語り出させるままに、さまざまな言語で語り始めた。

(2) 私たちが必要とする祈りは、地を揺り動かし、聖霊をもって弟子たちを力づけて、大胆に言葉を語り出させる祈りです。

(3) 私たちは常に自分自身をささげて、祈りと言の務めを堅く持ち続ける必要があります。

(4) 私たちが必要とする祈りは、ペテロを夢心地にもたらし、天のビジョンを彼にもたらしした祈りです。

(5) 私たちが必要とする祈りは、ペテロのために獄の門を開いた祈りです。

(6) 私たちが必要とする祈りは、五人の預言者たちと教える者たちを主の委託の中へもたらしした祈りです。

(7) 私たちが必要とする祈りは、大地震をもたらして、獄の土台を揺り動かした祈りです。

(8) 私たちが必要とする祈りは、パウロを夢心地にもたらし、彼に対する主の語りかけにもたらしした祈りを必要とします。

	<p>A. 緑柱石は、主が行動するときの外観です。車輪が緑柱石の外観を持っていることが示しているのは、車輪の行動がどこへ行っても、主の外観をもたらすということです。</p>	
	<p>B. 車輪が同じ外観を持っていることが示しているのは、主の行動が、あらゆる召会において同じ様と外観を持っているということです。 <u>Iコリント 11:16</u> もしだれかが論争したがるとしても、私たちには、そのような習わしはありません。また、神の諸召会にもありません。 <u>14:33</u> なぜなら、神は混乱の神ではなく、平和の神だからです。聖徒たちのすべての召会でそうであるように、</p>	
<p>Ⅲ. 高くて畏るべき車輪が地の上にあることが示しているのは、神が地上で行動を必要としているということです。 <u>マタイ 6:10</u> あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。</p>	<p>C. 車輪の中の車輪が示しているのは、私たちの行動の中の主の行動です：</p>	<p>1. 内側の車輪(車軸としての主)は、外側の車輪(輪縁としての召会)の行動のための力の源です。</p> <p>2. エリヤが祈りの中で祈ったことが意味するのは、主の祈りが彼の祈りの中にあったということです。これが車輪の中の車輪です： <u>ヤコブ 5:17</u> エリヤは私たちと同じ性情を持つ人でしたが、雨が降らないようと熱心に祈ったところ、三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。</p> <p>3. 内側の車輪は、車輪を行動させるモーター、原動機、発電機です：</p> <p>a. もし私たちの行動が真のものであるなら、私たちの行動の中には、主の行動があるに違いありません。 <u>ローマ 1:9</u> 私が私の霊の中で、御子の福音において仕えている神が私の証人なのですが、…</p> <p>b. 召会生活において、主イエスは車軸、すなわち、車輪の中の車輪であり、私たちは輪縁です。</p>
	<p>D. 車輪が四つの方向に行き、行くときには曲がらなかったことが示しているのは、曲がることのない、組み合わせの中の行動です。 <u>エゼキエル 1:12</u> それぞれは、前に向かって真っすぐに行き、霊が行くところへ彼らはどこへでも行き、行くときには曲がらなかった。</p>	
	<p>E. 私たちは自分自身の中では小さくあるべきですが、私たちのそばにある車輪は、すなわち、私たちと共にある神のエコノミーの行動は、高くて畏るべきものであるべきです。</p>	
	<p>F. 高くて畏るべき車輪の輪縁が目で満ちていたことが示しているのは、もし私たちが主の行動の中で主と一であるなら、神聖な洞察力、神聖な先見力、神聖な啓示を持つということです。 <u>エペソ 1:17</u> どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、</p>	<p>1. 私たちは、主の行動にあずかればあずかるほど、ますます照らされます。</p> <p>2. 私たちは、行動すればするほど、ますます見るようになるようになります。</p>
	<p>G. 車輪が生き物に従うことが示しているのは、神の働きの行動が私たちの行動にかかっているということです。それはまた、もし私たちが信仰の中で行動するなら、主が私たちの行動に従うようになることを示しています。 <u>Ⅱコリント 5:7</u> (なぜなら、私たちは見えるものによってではなく、信仰によって歩くからです)ー</p>	
	<p>H. 車輪は生き物に従い、生き物は霊に従いますが、霊は車輪の中にあります： <u>エゼキエル 1:19</u> 生き物が行くときはいつも、車輪もそのそばを歩き、生き物が地上から上げられるときはいつも、車輪も上げられた。 <u>20</u> 霊が行く所へはどこへでも、彼らは行った—霊が行くと行った。そして車輪は彼らに伴って上げられた。生き物の霊が、車輪の中にあつたからである。 <u>21</u> それらが行くときはいつも、これらは行き、それらが立ち止まるときはいつも、これらは立ち止まり、それらが地上から上げられるときはいつも、車輪はそれらに伴って上げられた。それは、生き物の霊が車輪の中にあつたからである。</p>	<p>1. このことが示しているのは、私たちの行動の中の主の行動が、肉体と成ることの原則の中にあるということです。</p> <p>2. このことがまた示しているのは、私たちが主と一であり、彼が私たちと一であるということです。<u>Iコリント 6:17</u> しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。</p> <p>3. 主は私たちに従い、私たちは霊に従い、霊は車輪の中にあります。<u>ヘブル 11:8</u> 信仰によって、アブラハムは召された時、これに従い、嗣業として受けようとしていた場所へ出ていきました。彼はどこへ行くか知らないで出て行きました。</p> <p>4. これが主の今日の地上の行動であり、これが主の回復です。</p>

経験:

①高くて畏るべき大車輪:

創世記から啓示録までの聖書全体は、神のエコノミーについての完全な絵を提示しており、神のエコノミーを遂行するための地上での神の行動についての完全な絵を提示しています。エゼキエル書において、神のエコノミーと神のエコノミーにおける彼の行動は、車輪によって表徴されています。この大きな車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴します。輪縁は、キリストの配偶者、すなわち召会を表徴し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。車軸から輪縁に広がる車輪のスポークは、キリストの肢体としての多くの信者たちを表徴します。

中高生編:

神のエコノミーは大きな車輪のようであり、その中心はキリストであり、輪縁は召会であり、スポークは信者です。あなたはキリストを中心とし、召会建造を目的とする学生生活を送ってください。もしキリストの肢体であるあなたが証しのないでたらしめな生活を送っていると、あなたは車軸であるキリストと輪縁である召会をつなげるスポークになることができません。信者であるあなたの日常生活は神のエコノミーにとって極めて重要です。あなたは召会生活の中でまだ幼い肢体であっても、決して自分を軽視してはいけません。

北海道大学の創始者であり、信者であるクラーク博士は、“Boys be ambitious in Christ.”と言いました。大きな車輪である神のエコノミーのビジョンを見て、神のエコノミーの行動にあずかることをあなたの生涯の目標としてください。そうすれば、あなたの学生生活は神のエコノミーの大車輪の動きの中で大いに祝福されるでしょう。

あなたは決して、「神のエコノミーの大車輪は私にとってあまりにも大き過ぎるので、そんなことよりもテストに合格することや良い職業を与えられることの方がより現実的で重要である」と考えないでください。神はあなたの学業や就職を神のエコノミーの動きの中でのみ祝福することができます。

あなたは次のように祈ってください、“Oh Lord Jesus, I want to be ambitious in Christ. Lord, I need to see the vision of the high and awesome wheel. I will be so blessed if I am in the move of the Lord. Lord, always keep me in Your economy. Amen!”

②神のエコノミーの特別な動きのための車輪による行動:

生き物には二つ以上の行動する方法があります。まず、彼らは鷲の翼を持っているので、飛ぶことによって行動することができます。彼らはまた、子牛のひづめで歩くことによって行動することができます。行動するこの二つの方法は、通常の行動です。しかし、彼らは特別な方法で行動する必要があるとき、車輪によって行動します。

あなたは仕事で鷲の翼と子牛の足によって日ごとに行動する必要があります。あなたがこのように行動するならば、あなたの同僚は、あなたには力強いものがあることを見るでしょう。あなたは鷲の翼を持っているので、他の人が耐えることのできない苦しみに耐えることができ、他の人が忍耐することのできないことを忍耐することができます。彼らはまた、あなたの性格と振る舞いが正直で、真つすぐで、率直で、誠実で、曲がっていないのを認識することができます。彼らはあなたの上に鷲の翼と子牛の足を見るので、彼らの良心の中であなたによって責められます。

あなたには仕事でこのような行動があることに加えて、もう一種類の行動、すなわち特別な行動、車輪の行動もあるべきです。最終的に、車輪の行動があなたと共にあるので、あなたの同僚の何人かは主に得られるでしょう。

ビジネス・ライフ編:

外資系の成功したキャリア・ウーマンである姉妹は2010年11月に救われました。姉妹は救われる前から上司である兄弟に主の祝福と畏るべき主の行動がともにあることを見て救われたのです。

主にある兄弟の業界最大手の会社における卓越した業績は、会社の50周年記念社史に収載されました(2010年)。この会社にはハーバード大学などの世界でナンバー1から10以内の大学院卒業の社員が大勢いました(当時東京大学は世界で20-30位)。このような優れた会社で歴代の7名が選ばれて、社史に収載されました。兄弟以外は全員アメリカの社員でした。このようなことは普通あり得ないことですが、大きな車輪の動きの中でこのことが起こりました。この直後、この姉妹は救われたのです。そして姉妹は救われた後、直ちに主に仕えるようになりました。ハレルヤ!

③車輪の中の車輪:

エゼキエル書第1章16節後半は、「その外観と構造は、車輪の中に車輪があるようであった」と言います。車輪が車輪の内側の車輪のように見えることは、とても意義深いのです。私たちは、車輪の中の車輪というこの事柄を、召会生活に適用してもよいでしょう。召会が正しくあり、行動しているならば、召会の行動の中に主の行動があります。これは、私たちの行動の中に主の行動があることを意味します。私たちが行動しているとき、主は私たちの行動の中で行動しておられます。内側の車輪は、行動するための力の源です。これは、内側の車輪が「モーター」であり、それが車輪を動かすことを意味します。もし私たちの行動が真のものであるならば、私たちの行動の中に主の行動がなければなりません。

召会生活において、主イエスは車軸、すなわち、車輪の中の車輪であり、私たちは輪縁です。もし諸召会が主と共に行動しないならば、車輪の中に車輪がないので、彼らに前進する道はありません。しかし、諸召会が主イエスと共に行動すると

き、彼は車輪の中の車輪となります。…何ものも、このような行動を妨げたり、止めたりすることはできません。

奉仕編:

召会の中の奉仕には、必ずリーダーシップ・チームが必要です。彼らの責任は主の動きの中で奉仕を遂行することです。彼らはその奉仕が車輪の中の車輪の動きであることに対して責任を負う必要があります。新人や主の中で成長していない聖徒たちはこのような責任を担うことができないので、決してリーダーシップにかかわることはできません。彼らはリーダーシップ・チームの導きに従い、横歩きすべきです。

あなたがリーダーシップ・チームであれ、その周りの奉仕者であれ、奉仕において車軸、モーターである主の動きがあるなら、誰もその奉仕を妨げることはできず、大きな祝福を召会生活にもたらすことができます。アーメン！

最新の時事トピック:

韓国の憲法裁判所が朴大統領の罷免を決定した:

先週韓国の憲法裁判所が朴大統領の罷免を決定しました。8人の裁判官のうち、6人以上の賛成が必要でしたが、全員が賛成しました。憲法裁判所は、国民の勝利である、と宣言しました。連日にわたる100万人以上の大統領府前での朴大統領罷免の運動が決め手となりました。東アジアに位置する日本にとって、中国、韓国、北朝鮮、台湾などの政治情勢は大きなトピックです。現職の大統領の罷免ということは韓国の歴史上初めてのことであり、韓国の国民にとってショッキングであるだけでなく、私たちにとっても大きな事件です。

私たちは世界の動きが政治力、経済力、軍事力によって動いていることを理解すべきです。私たちは特定の政党を支持しているわけではないので、細かい論評は避けたいと思いますが、この動きの中で民主化が進んでいることを見ることができます。

ダニエル書における大きな像のビジョンの中の足のすねは鉄であり、足の一部は鉄、一部は粘土でした。鉄に粘土が混ざるとは、民主化を指しています。最終的に一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土の足を打ち、これを砕きました(ダニエル 2:31-35)。私たちは今、時代の終わりである像の足の部分にいます。これら民主化の動きは最終的に主の再来と神の王国の到来をもたらします。この動きは、神のエコノミーの高くて畏るべき大きな車輪の動きによるダニエル書の予言の成就です。

主の再来のための私たちの準備には二つの面があります。一つは魂に油を蓄えること、魂が造り変えられ、命において成長することです。もう一つは奉仕において勤勉に仕え、召会の人数を増し加え、召会を建造することです。

私たちは世界情勢の大きな変化の背後にある神の動きを見て、この二つのこと、命の成長と勤勉な奉仕において、前進しているかどうか注意を払う必要があります。そうでないと、主の終極の動きから逸れてしまいます。

私たちはこの事件の背後の神聖な動きを見て、さらに主の中で燃え、福音を伝えるべきです。また、韓国の諸召会がこのことでもますます前進できるように祈りましょう。アーメン！

図: 神のエコノミーの大車輪:

- 車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴しています。
- 輪縁は、キリストの配偶者、召会、キリストのからだを表徴します。
- キリストの肢体である多くの信者たちは、スポークであり、車軸から輪縁へと広がり、キリストのからだへと広がり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。

